

第6回国際成人教育会議（CONFINTEA） のための国内「草の根会議」 運営委員会（第1回）

開催日時 2008年12月3日(月)午後7時半～9時半

開催場所 法政大学(市ヶ谷)80年館 丸会議室

議題

2008/12/03 荒井容子

1 市民社会組織(CSO)レポートについて

(1) 各団体での検討の様子

社全協では・・・毎年、集会時にまとめている基調提案の総括
集会の各分科会で取り上げてきた実践の総括
発行してきた資料集

『社会教育研究』『住民の学習と資料』

「ブックレット」No.1～3

総会時の議案書

アピール

などをレポートに生かしたいと考えている。

- 社会教育推進運動の総括

- 運動の中で研究・検討してきた法制度分析・実践収集分析を生かした報告

『月刊社会教育』編集委員会ではまだ未検討

しかし、「社会教育」の雑誌としてどのような役割をこの10年果たしてきたのか、その総括的な報告を簡潔にまとめてもらいたいと考えている。

(2) 今後のスケジュール

1) 本日の目標

2) 本語版完成の目標時期

3) その他 翻訳等々

(2) 全体の構成、項目について レポ - トの目的を検討・確認しながら

提案 ほか

1997年からのそれぞれの項目で、レポ - トのためのレジユメを持ち寄って話し合う
法制度・・・文部行政にとどまらず

たとえば、ガイドラインにはないが、海外教育支援については、国内の法制度
上の課題としては、この10年、どんな変化があり、今どんな課題があるのか。

社会教育行政、公民館、図書館、博物館、社会教育職員等々、

実践・・・多様な分野

識字教育、公民館、図書館、博物館、

海外支援、開発教育、平和学習、女性の学習、青年の学習、健康学習、

貧困問題

職員制度改革の運動

(「実践」は広くとらえ、いわゆる広義の実践 - 運動 - 制度改革の運動等もこの中にいれ
る)

それぞれの項目で、希望者(担当者)希望に応じて複数可 - にレジユメを用意してきて
もらって、それをもとに討議し、総括するレポ - トを簡潔にまとめる。

(4) 構成案・項目案のまとめ方・提案の仕方

案 確定とせず、しかし、今日、まず学習会企画でテ - マ設定をしてはどうか。

法制度、実践 それぞれでレジユメをもちよって学習会 - 1月早々。

そこでの様子が必要があればもう一回学習会を行い、あとは原稿執筆。

この学習会で分量など調節。

1月はじめに第3回草の根会議で、学習会開催提案。メ - ルでメンバ - を事前調整。

2月はじめに学習会を踏まえた原稿を持ち寄るかたちで第4回草の根会議を開催。

ここで内容を微調整 - 長文は書かないようにする。

2月末をめざして、英訳を分担。

3月はじめにまとめて、UIL に送付。

(5) 原稿の持ち寄り方

2 草の根会議としての今後の予定・課題 - 市民社会組織レポ - ト以外の課題等

3 呼びかけ団体について

3 次回「草の根会議」の日程、運営方法

(1) 日時・会場

(2) 運営 - 役割分担

司会	記録	運営
議題準備		
素案準備		
その他		